

2017年 激動の予感



出 初 式 写真撮影 服部勝弘 岐阜市議会議員

課題は、課題を執行する人

写真は2014年1月の本号の一面です。ときの1面記事は「新年の名刺」と題して浅野議員から頂いたグリーンの爽やかな名刺を題に岐阜市長選挙にも触れています。

今月12日には知事選の告示となります。次は市長選挙です。過去「100年安心年金」をうたい文句に闘われた国政選挙でしたが、昨年の年金改悪、カジノ法の経過は国政への国民の関心を「権力を執行する人」へ改めて向けたと思います。閉塞感は未だぬぐえず、焦りは、「権力者が経済界に賃上げを要求」する興味深い現象をも生み出しました。

岐阜市の課題も多くありますが、市民の感心は「執行する人」に移っています。市長選挙で前回、現職が新人に2000票差まで迫られました。パワハラ伊藤裁判の経過は「人間として、人事を執行する」市長を浮き彫りにしました。

連絡先 市会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

追い討ち・・・？

1面に同じく、2014年1月の2面記事から 「何年か前、友人と柳瀬の Snackbar で別れ、帰宅途中に道でバッテリー T さんに出会った。彼はタクシーから、大きな花束を持って降りられたところだった。『どうしたのですか？』と訊くと、『今日、職場をやめました』と。言葉少なに別れた。彼は優秀な方で1年もすれば部長席は間違いない人物と思っていた。しかも、定期異動時期でもなく、一般社会の退職時期でもなかった。

あとで聞くと、気骨な T さん、社長と仕事で意見を異なり、この社長に人格を傷つけられるような言葉を受けたらしいとのこと。突然の退職であった。驚いたのは、この社長、T さんの再就職の世話もしないように、関係会社に『おふれ』をしていたとの噂を耳にした。『言い過ぎた、次の道を探してやってくれ』と関連会社に言えない社長・・・？ 企業団体は社会の共有物で、私物ではない。」

しゅう ひ しゅうじん ひ しゅう
君子は周して比せず、小人は比して周せず。

論語にこんな言葉がある。君子は誰にでも公平で、人を分け隔てしない。たとえ好き嫌いがあっても、それで人を差別しない。心の狭い人間は、好き嫌いで人を差別する。そして、せっかく素晴らしい人材がそばにいても、其れを失う。



松原のりかず
☎058-253-2500